

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	工業科教育法I		
英文授業科目名	Engineering Education I		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	教職科目-教育課程及び指導法に関する科目-		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	小林 基宏		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
なし	なし

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>高等学校における「工業」の教員免許取得を志す学生を対象とする「教育職員免許法施行規則」の「各教科の指導法」に関する科目です。</p> <p>「工業科教育法(1)」においては工業国日本を支える工業教育の重要性、日本における工業教育の歴史や教育体系全般の中における工業教育の役割などを学習しつつ、学習指導要領に示される教科・科目の教育目標を理解し、工業に関する学科の教育課程の編成や年間指導計画の立案方法などについて学習していきます。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
<p>教職課程における各科目を履修する過程にあることが前提となります。</p>

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
<p>教職課程における各科目を履修する過程にあることが前提となります。</p>

<b>【教科書等】</b>
<p>参考書：「新しい観点と実践に基づく工業科教育法の研究」(実教出版)ほか。</p>

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

この授業では次のような授業内容に関して、印刷資料、VTR等の視聴覚教材を導入し、学習内容の理解を定着させるための小論文課題を適宜実施しながら分かりやすく学習を進めていきます。

日本の教育制度の仕組み・工業技術教育の歴史・工業技術教育の重要性と教師の役割・工業技術教育の現状と課題・教育実務内容・教育課程の編成内容・学習指導要領・教科「工業」の科目構成・授業の展開方法と評価方法・「学校設定科目」・施設設備の運営と監理・安全管理・年間授業計画の作成方法など。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

#### (a)評価方法

適宜実施する小論文課題提出の論述内容、遅刻出席等の学習態度等を勘案し、総合的に評価します。

#### (b)評価基準

学習内容を深く理解し、教職の重要性を認識しつつ、工業科教育に携わる使命感をもって職務を遂行しようとする意欲や心構えができていること。

### 【オフィスアワー：授業相談】

授業内容の理解促進等のために、授業時間外で学生の質問・相談を、電話などで事前に予約を取った上での面談や書簡、電子メールで応じます。電話番号や宛先、メール・アドレスは授業で案内します。

### 【学生へのメッセージ】

将来的に「生徒が未知のもの、新しいことに興味・関心を抱くように導くのが教師の使命」ということを十分に理解し、「学習者支援」のための知識・能力・スキル開発などを授業を通じてしっかり考察し理解していけば難しい内容ではありません。

### 【その他】

とくになし。